

兵庫県・西オーストラリア州姉妹提携35周年記念事業



4月20日～26日の7日間にわたり、兵庫県民交流団33名が西オーストラリア州を訪問しました。

県と西オーストラリア州姉妹提携35周年を記念した今回の旅では、共同声明調印式・州政府主催歓迎レセプションや豪日協会及び西オーストラリア州・兵庫文化交流センター共催の両県州民交流会に参加し、両県州の交流を深めました。観光地としてだけではなく他分野も含めた西オーストラリア州の魅力を発見できる旅になりました。



キングスパークからパースの街並みを一望

西豪州政府の
リシェル・ゴーリック氏(左)に
概況説明していただいた
(ゴーリック氏は2年前に
ひょうご海外研修員として来県)

共同調印式の様子



環境をテーマにしたプログラム
(クウィナナ水再生プラント)



風力発電施設



ロットネスト島

発行
問合せ

(公財) 兵庫県国際交流協会

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5-1 国際健康開発センター2階

電話 (078)230-3260 FAX (078)230-3280 E-mail hia-info@net.hyogo-ip.or.jp

Hyogo International Association 2FL IHD Center, 5-1, 1-Chome, Wakinohamakaigan-dori, Chuo-ku, Kobe, Hyogo 651-0073

HIA ホームページ
<http://www.hyogo-ip.or.jp/>



ひょうご国際交流団体連絡協議会の 総会が開催されました

6月2日(金)、神戸北野にある神戸倶楽部にて平成29年度ひょうご国際交流団体連絡協議会総会が開催されました。

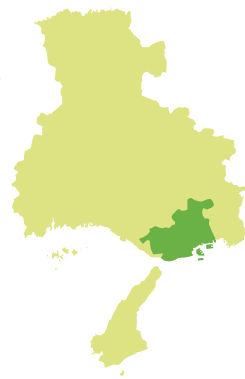
金澤和夫新会長（兵庫県国際交流協合理事長）による挨拶のあと、「草の根国際功労賞」受賞者の表彰式が行われ、5個人6団体が受賞しました。

昼食交流会では、神戸倶楽部元会長フリッツ・E・レオンハート氏に、同倶楽部の歴史と今をお話いただきました。次に、兵庫県国際交流員（CIR）から「国際交流キャラバンプロジェクト」について、JICA 関西からも事業紹介がありました。

その後、海外移住と文化の交流センターに場所を変え、ブラジルへの移住者を送り出してきた同センターの役割と、現在日本に在住するブラジル人への支援について説明を受け、様々な国際交流の歴史を知ることができました。

ひょうご国際交流
団体連絡協議会

活動紹介



金澤 新会長
(H29年4月から
HIA理事長に就任)



総会



交流会



海外移住と文化の交流センター視察

「草の根国際功労賞」受賞者のみなさん

柏原 日本語教室「こんにちは」
丹波市国際交流協会推薦
日本語教室の運営を通じた多文化共生社会の推進

播磨町 国際交流協会 英語部会
播磨町国際交流協会推薦
国際交流・多文化共生社会の推進

高砂市 国際交流協会「日本語教室」
高砂市国際交流協会推薦
日本語教室の運営を通じた多文化共生社会の推進

奥田 考祥 様
NPO法人 芦屋市国際交流協会推薦
姉妹都市の交流の推進

米谷 ルリ子 様
三田市国際交流協会推薦
切り絵を通じた国際交流

倉橋 哲雄 様
三木市国際交流協会推薦
国際交流・多文化共生社会の推進

平成29年度 ひょうご国際交流団体連絡協議会総会



ぶらり明石 観光ガイド ボランティア
明石市国際交流協会推薦
観光ガイドボランティアを通じた国際交流の推進

Kidsの会
NPO法人 宝塚市国際交流協会推薦
海外移住経験を生かした国際交流の推進

日本語サロンさんだ
三田市国際交流協会推薦
日本語教室の運営を通じた多文化共生社会の推進

グエン・ビート・ダン 様
公益財団法人 姫路市文化国際交流財団推薦
コミュニティ放送を通じた多文化共生社会の推進

石原 武士 様
朝来市連合 国際交流協会推薦
内蒙古との国際交流の推進

兵庫県私費外国人留学生 奨学金受給者証交付式

HIAは、兵庫県内の大学等に私費で留学している外国人学生の生活の安定を図り、学習活動を支援するために、1988 年より奨学金を支給しており、その受給者数は延べ5 千人にものぼります。

7月15日(土) JICA 関西において、今年度の受給決定者 145 名に対して、受給者証交付式が開催されました。留学生を代表して受給者証の交付を受けた関西学院大学 2 年生ユン・ヒジンさんは、「奨学金のおかげでアルバイトをする時間を減らせ、勉強に集中することができます。また、その他の様々な経験との時間をバランスよく保つ手助けとなっています」と感謝の気持ちを述べました。

今後、奨学金を受給した外国人留学生の方々が一層勉学に励まれるとともに、兵庫県と母国との交流を担う人材となることを期待しています。



受給者証を受け取る留学生代表

短編映画「杉原千畝を繋いだ命の物語」 & 梶岡潤一監督講演会

7月8日(土)、県立美術館ミュージアムホールにて短編映画「杉原千畝を繋いだ命の物語」の上映と監督である梶岡潤一氏(兵庫県出身)による講演会を実施し、約 250 名の方に参加いただきました。

今回の短編映画は、杉原千畝氏が発行したビザを手にしたユダヤ人がリトアニアから、ロシアを経て日本(神戸)に滞在後、第3国へ亡命するまでを生存者のインタビュー等を通じて描いたものです。

梶岡監督からは、映画制作秘話や当時のユダヤ人のおかれた状況が語られました。参加者からは「杉原氏のビザを繋いだ日本人がこんなにたくさんいたことに驚いた」「1 人の力だけでなく、多くの人々の力がユダヤ人の命を助けることに繋がったと知り、さらに感動した」といった感想が聞かれ、また今後もこうした国際理解や国際平和への認識を深める事業の実施を求める声が寄せられました。



監督の活動をポスターで紹介



参加者からの質問に答える梶岡監督

新しい国際交流員(CIR)が2名着任しました

チョウ・ビンコウさん
(張 敏恒) 中国 広東省



ニーハオ！中国広東省から参りました張敏恒と申します。

私は子供の頃から、日本の映画やアニメを通じて日本に対してとても深く興味を抱いていました。15 年前から日本語の勉強を始めましたが、日本については、まだまだ分からないことがたくさんあります。だからこそ、この目で日本の社会を見て、この肌で日本の豊かな自然を感じたいと思いました。

また、仕事を通して色々な人と触れあい、良い人間関係を築きつつ、日本の社会人としてのマナーもしっかりと理解していきたいです。

現在の中国のことを日本人に伝え、ありのままの日本のことを中国人に伝えられるように、姉妹関係にある兵庫県と広東省の友好の架け橋としても尽力してまいります。どうぞよろしくお願いします。



カイ・ナガラ・シムズさん
オーストラリア シドニー



私は日本とオーストラリアの両方にルーツを持って生まれ、シドニーで育ちました。子どもの頃から「もうひとつの」祖国での生活はどのようなものか、常に興味を持っていました。この気持ちは大学に入ってから強くなり、交換留学生として京都で1年を過ごし、他にも二つの留学プログラムに参加して、日本のことが大好きになりました。

国際交流員として、国際交流プログラム・イベントを担当したり、外国からの訪問を受け入れ、相互の関係を促進するという仕事ができるのは、様々な言語や文化を学ぶ上で、またとない好機だと考えています。

日本の文化や日本人について学ぶだけでなく、オーストラリア文化や外国文化全般についての興味を育てたいと思います。どうぞよろしくお願いします。



ひょうご
キャラバン
プロジェクト



国際交流員(CIR)は、現在、米国、オーストラリア、韓国、中国出身の4名で活動しています。市町国際交流協会と協力して、県内各地で「ひょうごキャラバンプロジェクト」を展開しています。みなさんの街でお会いしましょう。



多文化共生の窓

地域日本語教室リーダー養成講座（西播磨ブロック）スタート!

地域の日本語教室は、日本で暮らす外国人にとって生活に必要な日本語を学ぶ場、地域とつながる場として大きな役割を担っています。兵庫県には約 100 の教室があり、各地で工夫を凝らした活動が行われています。HIA はその活動を支える方々を対象に、個々の教室の枠を越え、共にこれからの教室のあり方を考えるため「地域日本語教室リーダー養成講座」を開催しています。今年度は、西播磨地域 4 市 3 町の 8 教室に関わるボランティアや行政職員のみなさんと、教室内の課題を整理し解決していくことを目指します。



講師はNPO法人多文化共生リソースセンター東海代表理事 土井佳彦氏

7 月 15 日には「日本語教室の運営方法～5 年後を見据えた活動を考える～」をテーマに第 1 回合同研修を行いました。教室の目標と現状とのギャップを探る中で「支援者が足りない」「学習者がやめてしまうのはなぜ?」など、さまざまな課題が見えてきました。この研修をふまえ、12 月までの 6 ヶ月、各教室で課題解決に取り組みます。9 月には、日本語学習の支援方法を見直し、アイデアを出し合う合同研修を行い、そこで得たものを教室に持ち帰って、それぞれの活動の中で実践する予定です。



教室内で課題を整理したあと、他の教室とも意見交換

ひょうごの仲間たち

「もっと子どもとモンゴル語で話したい!」

■屋内に小さなゲルが出現



■モンゴル語教室では、一人ずつ発音練習をします



HIA が「外国人県民・児童生徒の居場所づくり事業」により支援している団体である「アインモンゴル語・文化教室」を取材しました。

代表のセハナさんは、12 年前にモンゴルより来日し、現在は 2 児のお母さんです。両親がモンゴル語で会話していれば、当然子どももモンゴル語を話せるようになっていたところ、そんなことはない!と痛感。同じような悩みを持つ母親たちと一緒に、子どもにモンゴル語を教える活動を 2013 年より開始し、現在はボランティア講師による読み書き教室と文化体験教室を月 2 回日曜日に開催しています。

取材当日の教室では、モンゴルより来日した先生から実際に組み立てられたゲルの前で、モンゴルでの暮らし、ゲルの快適さについてのお話があり、子ども達はたくさんの熱い質問を先生に投げかけていました。

参加していたお母さんからは、「この教室に参加し始めてから、モンゴルの場所を世界地図で確認したり、図書館でモンゴルの本を借りてくるようになった」と子どもの変化に喜びの声が上がっていました。

アインモンゴル語・文化教室

■モンゴルの服装はカラフル（クリスマスイベント）



「日本で生まれ育った子どもたちが、親の母国に興味を持ち、意識し始めてくれたことがとても嬉しい」と語ってくれたセハナさん。今後は他の母語教室開催団体との連携やモンゴルを紹介する講演会の開催が予定されており、未来に向かって夢は大きく膨らんでいました。



オックスブリッジ英語 サマーキャンプ 2017



*オックスブリッジ英語サマーキャンプは、イギリスのオックスフォード大学とケンブリッジ大学の学生を兵庫県内の学校などに派遣し、英会話やさまざまな国際交流を行なっているプログラムです。

ウェルカムパーティを開催しました!

7月20日(木)、兵庫県立美術館内レストラン、ラ・ピエール・ミュゼにて、オックスブリッジメンバー 11 名を歓迎する「ウェルカムパーティ」を開催しました。パーティには、受入団体・HIA 友の会・ホストファミリー 140 名が参加し、パフォーマンスや音楽、魅力的な英国グッズが当たる抽選会などを楽しみました。



美術館のオープンスペースで、神戸大学附属中等教育学校による迫力あるパフォーマンス!



英国グッズ抽選会は
大いに盛り上がりました



ザ・ビートルズの
オブラディ・オブラダを
大合唱

食文化交流教室 ～英国料理～



7月28日(金)神戸倶楽部にて食文化交流教室を開催しました。講師にはウェールズ政府の中嶋竹春代表及び小堀洋子上級外務担当官と、英国菓子研究家の砂古玉緒氏、そしてオックスブリッジのリーダー、ジョシュア・ブリードンさんを迎えて英国全土の多様な食文化について学びました。ウェールズの美しい自然の景観や城などの建築物、国民的野菜であるネギについての紹介や、英国のクリスマスプディングにまつわる歴史的背景や逸話などを聞きました。ウェルシュ・レアビットやフィッシュ&チップスなど英国を代表するお料理を堪能した後、砂古氏によるクリスマスプディングにラム酒をかけて火を灯す実演があり、内容の濃い充実した時間となりました。



ウェールズ政府の中嶋代表と
小堀上級外務担当官より
ウェールズの魅力を紹介する様子



ジョシュアさんは
様々なイベントで活躍

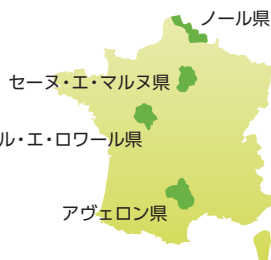


クリスマスプディングについての
説明と、実演をする砂古先生

海外事務所だより

HIAが管理運営している海外事務所のうち、パリとブラジル事務所に新所長が着任しましたので紹介します

パリ
Paris



兵庫県パリ事務所長
萱嶋 聖志

本年4月初めに着任しました萱嶋です。
どうぞよろしくお願いいたします。

兵庫県パリ事務所は、兵庫県とフランス4県、ドイツの1州との自治体交流を中心として、欧州において、経済、観光、文化、芸術、教育といったさまざまな分野での交流促進に取り組んでいます。

これからも、欧州の拠点として、様々な事業活動等を通じ、ふるさと兵庫の魅力をより多くの人に知っていただけるように、取り組んでいきたいと考えています。

パリにお越しの際には、是非お立ち寄りください。

ブラジル
Brazil

兵庫県ブラジル事務所長の永田です。
一昨年まで HIA に5年間在籍し、海外事務所の運営や県民交流団の派遣などを担当していました。今年4月にブラジルに赴任し、担当エリアである南米と兵庫県の交流の橋渡しを行っています。

ブラジルと兵庫県との関係は深く、県とパラナ州との姉妹提携をはじめ、県内の5市がブラジルの各市と友好関係を結んでいます。

来年ブラジル日本人移民110周年の節目の年を迎えるにあたり、交流イベント等が多数予定されていますので、その一翼を担うべく、これから頑張っていきたいと思っています。



兵庫県ブラジル事務所長
永田 展之 (中央)

バティック作品展 & バティックを作ろう!

6月6日(火)から28日(水)まで、ひょうご国際プラザ交流ギャラリーではバティック作品展を開催しました。

バティックは、色をつけたくない部分に溶かしただけで絵を描き顔料で染める「ろうけつ染め」の布です。その伝統技法をマレーシアの障害者が受け継ぎJICAマレーシアの隊員たちが支援してきました。この活動を紹介するパネルと実際に障害者が制作した作品を展示し、来場された皆様にお楽しみいただきました。

また、6月9日(金)と15日(木)には元JICAマレーシア隊員の加藤佳恵氏を講師に招きワークショップ「バティックを作ろう」を実施。30名の参加者は実際にバティックを制作し、マレーシアの文化を体験しました。

これからも、様々な国や地域の文化や活動を紹介していきます。皆さまのお越しをお待ちしています。



綺麗にできて楽しかった!



色鮮やかなバティック



加藤氏

HIAの うごき

ひょうご国際プラザ 新司書の紹介



永井司書と
トライやる・ウィークの石井くん

はじめまして、4月よりひょうご国際プラザの司書になりました永井と申します。

ひょうご国際プラザは国際交流に関する書籍や日本語を勉強するテキスト、英語・中国語・スペイン語などの外国語書籍を所蔵しています。今まで外国語に触れる機会がなく、小説を読みふけていた私にとって、ひょうご国際プラザの司書という仕事は新たなチャレンジだと思っています。

6月には神戸市立渚中学校よりトライやる・ウィークの中学生を受け入れ、一緒にカウンターで貸出業務を行い、本の分類方法や並び方などを説明しました。図書館の楽しさが、少しは伝わったかなと思っています。

様々な方のニーズに応えられるよう、より良い図書館づくりを目指して頑張ります。みなさまのご来館を、お待ちしております。



<プラザ図書展示>

9月 スポーツを楽しもう!
10月 知ってる? アフリカ大陸
12月 世界のクリスマス

ひょうご国際プラザ TEL: 078-230-3060
開館時間: 月曜~金曜 10:30~18:30
休館日: 土日祝祭日、年末年始、特別整理期間

平成29年度 第1回国際協力入門セミナー

日本・ブータン外交樹立 30周年記念とあわせて、セミナー「ブータンと幸せと人々「幸せの国」から学ぶこと」を7月22日(土) JICA 関西ブリーフィングルームにて開催しました。

まず、世界各地で「幸せ」を追うドキュメンタリー映画『Happy』の上映、次に甲南大学教授であり日本ブータン友好協会理事の真崎克彦氏による国民総幸福(GNH)についての講演、そして JICA 青年海外協力隊 OB の岡山智彦氏から現地における体験談をお聞きしました。

日本ではまだなじみの少ないブータンですが、100名以上の方にご参加いただき、活気あるセミナーとなりました。また、実際には経済格差等深刻な問題を持っているブータンの人々が日々「幸せ」を感じているという事実、私達も「幸せとは?」と考えさせられる契機となりました。



真崎先生の講演

岡山さんがブータンで
撮影した村落部の写真



2017 HIA イベントカレンダー(予定)

(変更になる場合もありますので、
ホームページやメールマガジンで確認してください。)

9月

- ・コンボ大使セミナー
【ギャラリー展示】 ・バヌアツ展
・写真で見る神戸学院大学の
留学生行事

10月

- ・第2期 日本語講座開講
- ・セーフティネット モデル事業(但馬)
- ・国際交流バスツアー
- ・HAT 神戸レガッタ 多文化共生の集い
- ・JICA 2017年度日系研修員受入
- ・魅力ひょうご発信事業(朝来市)
- 【ギャラリー展示】 ・六甲山コレクション展

11月

- ・第2回 国際交流協力セミナー
- ・食文化交流教室(中華料理)
- 【ギャラリー展示】 ・モルドバ パネル展
・ミャンマー写真・パネル展

12月

- ・広東省友好提携35周年県民交流団
- 【ギャラリー展示】 ・にっぽん-大使たちの視線 2017

イベントに参加したい! もっと知りたい!

登録
無料

HIA

ひょうご国際交流
メールマガジン

県内の国際交流(多文化共生・教育・文化)に関する最新イベント等の情報を、
月2回配信中! ※多言語での配信あり

検索・登録はココから
<http://www.hyogo-ip.or.jp>

HIA



この広報紙は地球環境保全のため「植物油インキ」
を用い、有害物質を排出しない「水なし印刷」、「環境
保護印刷」で製作しています。